

安全データシート

作成:2018年 5月 1日

改訂:2022年 7月 29日

1. 製品及び会社情報

整理番号	:KI084-03
製品名	:ベネビアOD
会社名	:クミアイ化学工業株式会社
住所	:東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	:サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	:03-3822-5180
FAX番号	:03-3823-6830
緊急連絡先	:同上
推奨用途及び使用上の制限	:農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

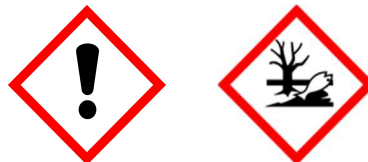
GHS分類

健康に対する有害性	皮膚感作性	:区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	:区分1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	:区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語:警告

危険有害性情報

- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性

- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

- ・皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-N-[4-シアノ-2-メチル-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド／一般名：シアントラニプロール

成分及び含有量：シアントラニプロール	10.3%
<その他> フュームドシリカ	1.3%
その他の成分	

官報公示整理番号：安衛法 8-(1)-3850	シアントラニプロール
(1)-548	フュームドシリカ

CAS No.:	736994-63-1 /	シアントラニプロール
	112945-52-5 /	フュームドシリカ

4. 応急措置

意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。

中毒情報センターまたは医師に問合せるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。

眼に入った場合：目を開け水で 15-20 分間ゆっくり穏やかに洗う。コンタクトレンズを着用している場合は 5 分後に外し、その後も洗浄を続けること。中毒情報センターまたは医師に問い合わせ、治療のアドバイスを得る。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服を脱がせる。皮膚を直ちに多量の水で 15-20 分間洗う。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所へ移動する。症状が続く場合には、医療機関で診察を受ける。人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

飲み込んだ場合：中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。中毒情報センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐を誘引しない。意識不明の人には口から何も与えないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水スプレー、泡、粉末消火剤、二酸化炭素(CO₂)

使ってはならない消火剤：棒状注水を避ける。(汚染のおそれ)

特有の危険有害性：この製品は可燃性ではない。

特有の消火方法：情報なし

消化を行う者の保護：火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。保護具を使用する。

特有の対策：消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。汚染した消火水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物および汚染された消火水は地方自治体の規制に従って処分しなければならない。(小火災に)火災が広範囲である場合は、消火水がエリアの汚染を助長させてしまうので、可能であれば燃やし尽くす。水を噴霧して容器/タンクを冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：人々を避難させ、区域を完全に換気し、自給式呼吸器を使用する。保護具を使用する。

環境に対する注意事項：物質が、下水、水路または低地域へ流入することを防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：おがくず、砂、油除去剤またはその他の吸収剤で吸収させる。承認された容器に廃棄する。大量の液体が流出した場合は、すぐにくい上げるか、吸引機で吸い取る。

補足事項: 回収したものの使用を避けるために、製品の容器に戻してはならない。現地の規定に従い、処分する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。

局所排気, 全体換気: 情報なし

安全取扱注意事項: この製品は可燃性ではない。

衛生対策: 取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹼と水でよく手を洗う。物質が内部に入った場合、衣服/PPE(個人用保護具)を直ちに脱ぐ。十分に洗い、清潔な衣服を着用する。

保管

安全な保管条件: 製品は子供やペットが近づけない場所に、元の容器のみに保存する。保存している水、他の農薬、肥料、食料品または飼料を汚染しない。家またはその周辺で使用または保管するものではない。子どもの手の届かない場所におく。

一般的な保管に関するアドバイス: 他の製品との混蔵には、特別の制限はなし。

保管温度: $>0^{\circ}\text{C}$

安全な容器包装材料: 情報なし。

8. ばく露防止措置

管理パラメータ

適用される職業曝露限界はなし。

設備対策: 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。従業員への暴露を勧告限界値以下に保つため十分な換気を行う。

生物学的限界値: 情報なし

保護具

呼吸用保護具: 適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

手の保護具: 保護手袋。

眼, 顔面の保護具: この物質との接触をさけるため保護用眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具: 手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。

保護措置: 製造者の個人保護具(PPE)のクリーニング/メンテナンスの指示に従うこと。もしそのような洗浄に関する指示が存在しない場合、洗剤と湯を使用すること。他の洗濯物と分けて個人保護具(PPE)を洗うこと。

9. 物理・化学的性質

外観等	: 類白色液体
臭い	: 軽い 油臭
pH	: 5.1 (10g/l)
融点・凝固点	: 適用なし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: 99°C
可燃性	: データなし
引火点	: 沸点までは引火しない。
自然発火点	: 254°C
燃焼性	: この製品は可燃性ではない。
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度	
かさ密度	: 0.9-1.1g/cm ³
溶解度	: 水溶性 分散する
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 常温及び通常の保存条件下で安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 氷結しないように保温する。
混触危険物質	: 特に言及すべき物質は無し。
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	: ラット(粉塵/ミスト) LC ₅₀ >3.3 mg/l (4時間)
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ 皮膚への刺激なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ 眼への刺激なし

呼吸器感作性／皮膚感作性	: 複数種 皮膚に触れると感作を起こすことがある。
生殖細胞変異原性	
シアントラニリプロール	: 細菌及び哺乳類の培養細胞での試験では、変異原性は見られなかった。この物質は動物の遺伝子を損傷しないことを示唆する証拠がある。
フュームドシリカ	: 動物実験では、突然変異は見られなかった。細菌及び哺乳類の培養細胞での試験では、変異原性は見られなかった。
発がん性	
シアントラニリプロール	: ヒト発がん性としては分類できない。 動物実験では、発がん性の影響は見られなかった。
生殖毒性	
シアントラニリプロール	: 生殖毒性: 生殖毒性なし 動物試験では、生殖毒性は示されなかった。 催奇形性: 母体に有毒となるレベル以上のレベルにおいて、胚-胎児の発生への影響が、動物試験により示された。
フュームドシリカ	: 催奇形性: 動物試験では、発生毒性は示されなかった。 本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	
シアントラニリプロール	: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回暴露に分類されない。
フュームドシリカ	: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回暴露に分類されない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
シアントラニリプロール	: この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復暴露に分類されない。
フュームドシリカ	: 可能性のある暴露ルート: 吸入 標的臓器: 呼吸器官
誤えん有害性	: 分類されない
その他	
シアントラニリプロール	: 反復投与毒性: 以下の影響は、表示された使用条件下で予想されたものを著しく超える暴露レベルにおいて起こった。 経口/ラット 28-90d 甲状腺への影響、臓器の重量変化、神経毒性に影響しない。 経皮/ラット 28d 毒性学的に重大な影響は見られなかった。

経口/マウス 90d

毒性学的に重大な影響は見られなかった。

経口/イヌ 90d

血液中の化学成分の変化、肝臓への影響、動脈炎

経口/複数種 28d

免疫系、毒性学的に重大な影響は見られなかった。

経口/ラット 14d

毒性学的に重大な影響は見られなかった。

経口/イヌ 365d

肝臓への影響、胆嚢への影響、血液中の化学成分の変化、
動脈炎

吸入/ラット 28d

毒性学的に重大な影響は見られなかった。

フュームドシリカ

:反復投与毒性:

吸入/ラット 91d 粉塵/ミスト

呼吸器官への影響、本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類

シアントラニリプロール :ニジマス $LC_{50} > 12.6$ mg/l (96時間)

方法:OECD 試験ガイドライン 203

情報源:内部試験報告書

ブルーギルサンフィッシュ $LC_{50} > 13$ mg/l (96時間)

方法:OECD 試験ガイドライン 203

情報源:内部試験報告書

フュームドシリカ :ゼブラダニオ $LC_{50} > 10,000$ mg/l (96時間)

方法:OECD 試験ガイドライン 203

甲殻類 :オオミジンコ $EC_{50} 0.215$ mg/l (48時間)

シアントラニリプロール :オオミジンコ 無影響濃度 0.00656 mg/l (21d)

藻類

シアントラニリプロール :緑藻 $ErC_{50} > 13$ mg/l (72時間)

方法:OECD 試験ガイドライン 201

情報源:内部試験報告書

duckweed $ErC_{50} > 12.1$ mg/l (7d)

方法: OECD 試験ガイドライン 201

情報源: 内部試験報告書

残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	
フュームドシリカ	: 生体蓄積性はない。
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他	: 環境の予防措置に関する、取り扱いの追加説明は製品ラベルを参照する。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 : 3082(環境有害物質、液体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第23554号

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

:(2023年4月1日以降)

第二種指定物質 810号 シアントラニリプロール

毒物劇物取締法 : 非該当

船舶安全法 : 船舶安全法、有害性物質

航空法 : 航空法、その他の有害物

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。